

★ NEWS ★

海外からの研修生が滞在しました

国立大学法人福井大学 附属国際原子力工学研究所（敦賀キャンパス）

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番33号

TEL : 0770-25-0021, FAX : 0770-25-0031

<http://www.rine.u-fukui.ac.jp/>



## 海外からの研修生が滞在しました

2024年9月4日から11月14日までの約2か月間、文部科学省原子力研究交流制度で、海外から3名の研修生を研究所に受け入れました。この制度は、主にアジア諸国からの原子力研究者を日本国内の研究機関に受け入れて研究交流を行うもので、滞在中は各自が研究したい原子力に関する専門分野についての知識を深めることを目的としています。3名の研修生はそれぞれ、担当教員の指導のもと研究活動に従事しました。また、当該期間中には、原子力安全工学コースの教員が、持ち回りで各自の専門分野の概要を説明する「オムニバス英語講義」も実施しました。研修生らは、熱心に聴講し、自身が研究している専門分野だけでなく、原子力分野全般に関する知識も幅広く習得し、知見を広げようとする様子が見られました。

休日には、サイクリングに出かけ、気比の松原や西福寺前のコスモス畑などの敦賀市内のさまざまな名所を散策しました。さらには、福井県内で開催されたイベントにも積極的に参加し、日本文化の体験や地域住民との交流を楽しみ、思い出をたくさん作りました。

11月12日に開催された成果報告会では、この研修での研究活動や滞在中の体験などについて一人ずつ発表しました。その後、修了証が授与され、約2か月間の研修を無事終えました。

### こちらの3名が滞在しました



ラフィジさん  
(マレーシア)



ワヒューさん  
(インドネシア)



ダンテさん  
(フィリピン)

### 思い出スナップ



オムニバス英語講義  
聴講の様子



西福寺前の  
コスモス畑にて



「ミライエ」にて



滞在中初日の  
9月4日、敦賀ま  
つりを見に行き  
ました。



小浜で箸研ぎを体験しました。



修了証を手に記念撮影  
特に心に残る思い出となりました。  
約2か月間お疲れ様でした！

## 福井県および敦賀市の総合防災訓練に 本学の学生が参加しました

令和6年10月25日（金）・26日（土）に福井県原子力総合防災訓練が行われ、大飯発電所の発災を想定した訓練が実施されました。訓練に参加した学生・岩崎さんからは、「国、県、市町村、実働機関がそれぞれの立場でどのように動くかを学べ、とても勉強になった。また、高度な専門性を必要とするこの分野では、定期的な訓練が重要であると再認識した。」と感想がありました。

また、令和6年11月9日（土）・10日（日）には敦賀市総合防災訓練が実施されました。避難所設営訓練、消火訓練、非常用物資輸送訓練などが行われ、訓練に参加した学生・弓削さんからは、「住民や市職員と一緒に行うことで、楽しく積極的に参加できた。原子力訓練では住民側が受け身になることが多いので、一般防災訓練のような能動的な仕組みが重要だと感じた。」と感想がありました。

両訓練に参加した学生らは、令和6年12月7日（土）に、福井大学附属国際原子力工学研究所で開催された、「レゾリエント社会・地域共創シンポジウム」において発表を行い、学生らにとって貴重な経験となりました。

## PICK UP!!

今回は、吉田准教授をご紹介します。



名 前：吉田 邦一  
出身地：北海道  
趣味：パソコン（色々作ったり）  
好 物：ラーメン  
研究テーマ：強震動地震学・微動探査

日本にいると、地震対策は欠かせません。自然災害を防ぐには、まず自然現象という相手のことを知る必要があります。自然現象は複雑で、思わぬこともたくさん起きますが、それだけに取り組み甲斐があります。

調査のために現地に出向くこともあり、これまでに日本中かなりの都道府県を訪れてしまいました。調査地でおいしいものを食べるのも楽しみの一つです。